

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,197	2,164		2,164			2,164	▲ 33
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	2,197	2,164		2,164		2,164	▲ 33

事業概要	社会教育活動の指導・助言を行う社会教育指導員1名の人件費及び社会教育に関する助言を行う15名の社会教育委員会等にかかる報酬等経費	今年度見直し事項	
事業目的	生涯学習課内に社会教育指導員を配置し、また社会教育関係機関及び学識経験者等からなる社会教育委員会で幅広く意見を求め、本市の社会教育の充実を図る。		
現状と背景	近年の少子化・核家族化・メディアの発達などにより現代社会をとりまく環境は大きく変化している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	成人式記念事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	401	421		421			421	20
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	401	421		421			421

事業概要	<p>新成人が大人として自立する意識をもつことを目的として、式典を開催し祝福する。</p> <p>日 程:平成25年1月開催予定</p> <p>会 場:文化ホール</p>	今年度見直し事項	
事業目的	大人の仲間入りをした新成人の門出を祝う。		
現状と背景	<p>過去の開催日:成人の日の前日の日曜日。</p> <p>出席率 平成21年度76%・平成22年度72%・平成23年度74%</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	視聴覚教育振興費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	32	32		32			32	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	32	32		32		32	

事業概要	鳥取県西部の市町村で構成する西部広域行政管理組合の教育部門にある西部視聴覚ライブラリーにおける視聴覚教材(ビデオ・16ミリフィルムなど)の貸出及び管理。	今年度見直し事項	
事業目的	人権、生活安全、保健衛生、環境問題等の教育映像の貸出環境を整備し、学校教育機関並びに広く市民への貸出を実施することにより、市内の視聴覚教育の充実を図ることを目的とする。		
現状と背景	(平成22年度貸出実績) 貸出回数 閲覧人数 ビデオ 57回 378人	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化財保護事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	70	1,345		1,009			1,009	939
財源内訳	国							
	県	4		484			484	480
	市債							
	その他							
	一般財源	66	1,345		525			525

事業概要	市内の文化財保護について諮問する文化財保護審議会を開催し、文化財の指定、保存などに向けた総合的な調査活動や意見聴取を行う。 また、市民を対象に文化財を現地で紹介する「文化財巡り」を開催する。	今年度見直し事項	
事業目的	市内に存する重要な文化財を保存、活用することにより、市民文化の向上に資する。		
現状と背景	平成23年9月に第4次文化財指定を行ったところであり、今後は、指定文化財の周知を図るとともに、その適切な保存、活用を図っていく。 第1次指定(S62.3) 10件 第2次指定(H4.6) 6件	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市美術展覧会事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	767	717		717			717	▲ 50
財源内訳	国							
	県	383		358			358	▲ 25
	市債							
	その他	384		359			359	▲ 25
一般財源		717						

事業概要	美術作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術・文化の振興を図るため、絵画、工芸、彫刻、書道、写真の5部門に市民から美術作品を募集し、優れた作品を展示する「市美術展覧会」を開催する。当展覧会開催のための審査員報酬、会場費などの経費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	広く市民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術振興を図る。		
現状と背景	平成24年度で開催回数43回となる。 例年、出品点数 約200点、入場者数 約1000人。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	境港市文化協会補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	650	625		625			625	▲ 25
財源内訳	国							
	県	325		312			312	▲ 13
	市債							
	その他							
一般財源	325	625		313			313	▲ 12

事業概要	文化活動に広く市民に参加してもらうため、市文化協会加盟団体が主催する市内での発表会、展覧会等の開催費の一部を文化協会を通じて助成する。 補助限度額 1団体につき25千円	今年度見直し事項
事業目的	市内に活動の拠点を置く文化団体が自主的に行う文化活動を補助することにより、文化の創造を促進するとともに、市民に鑑賞する機会を提供する。	
現状と背景	実績(協会加盟団体/補助事業実施団体/事業入場者) H21 36団体/27団体/約2,900人 H22 34団体/22団体/約3,000人	その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	生涯学習講座開設事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	275	275		275			275	
財源内訳	国							
	県	137		137			137	
	市債							
	その他							
	一般財源	138	275		138			138

事業概要	市内の教養の向上、健康の増進、文化の振興などを目的に各地区公民館における社会教育講座及び大学公開講座を開催、それにかかる講師謝礼、会場経費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	様々な分野の事柄について地域住民が学習できる機会をより多く提供する。		
現状と背景	各地区で地域住民の要望に沿った社会教育講座を開催しており、年間3,000人以上が受講している。また鳥取大学・放送大学等の大学公開講座を年4回実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	教育総務課
事業名	青少年芸術鑑賞事業
補助単独の別	補助(基金・交付金)

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,355	2,355		2,355			2,355	
財源内訳	国							
	県	1,177		1,177			1,177	
	市債							
	その他	1,178		1,178			1,178	
一般財源		2,355						

事業概要	中学校芸術鑑賞教室(中学生を対象)や青少年劇場巡回公演(小学生を対象)を開催する。小学生3年生以上は毎年、中学生は3年間で2回、生の芸術に触れる機会を創出している。	今年度見直し事項	
事業目的	優れた舞台芸術に間近に触れる機会を提供することで、豊かな情操を培い、芸術文化の振興を図る。		
現状と背景		その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	親子読み聞かせ教室運営補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	498	498		498			498	
財源内訳	国							
	県	249		249			249	
	市債							
	その他							
	一般財源	249	498		249			249

事業概要	<p>絵本等の親子読み聞かせ教室の開催を支援することにより、絵本等とおして親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの豊かな心を育てていくことを目的とし、市内の読み聞かせ団体で構成する読み聞かせ団体連絡協議会が市民活動センター等で開催する読み聞かせ教室の運営に対する補助金を予算化している。</p> <p>実施日：毎週水曜日、毎月第1・2・3土曜日</p>	今年度見直し事項
事業目的	<p>絵本等の親子読み聞かせ教室の開催を支援することにより、絵本等とおして親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの豊かな心を育てていくことを目的とする。</p>	
現状と背景	<p>近年はメディアの急速な発達と普及により、幼児期からテレビやゲームに触れる可能性が高くなった。このことは親子のふれあいやコミュニケーションの時間を奪い、この時期の子どもに必要な言葉や心の発達を妨げる結果となっている。親子読み聞かせ教室 平成21年度 83回実施、平成22年度 82回実施。</p>	その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	教育総務課
事業名	適応指導教室「やすらぎルーム」運営事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	4,440	4,352		4,352			4,352	▲ 88
財源内訳	国							
	県	462	160	160			160	▲ 302
	市債							
	その他							
	一般財源	3,978	4,192		4,192			4,192

事業概要	集団生活への適応性や家庭環境等に問題があり学校へ通うことができない児童生徒に対する受け皿として、適応指導教室「やすらぎルーム」を境港市青少年育成センター内に開設し、集団生活への適応、情緒の安定、基本的な生活習慣の改善等のための相談・適応指導などを行い、児童生徒の自立を支援する。	今年度見直し事項
事業目的	不登校児童・生徒の居場所を確保し、相談・適応指導等により自立支援を行うことで、学校への復帰を促し不登校の解消を目指す。	
現状と背景	新たな不登校児童生徒を出さないことを重点目標に掲げ、各校で取り組んで頂いているが、家庭環境の変化等により不登校になってしまう児童生徒もいる。「やすらぎルーム」ではそのような子どもが学校に通えるよう学校と連携をとりながらすすめている。	その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市の花普及事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	52	52		52			52	
財源内訳	国							
	県	26		26			26	
	市債							
	その他					26	26	26
	一般財源	26	52		26	▲ 26		▲ 26

事業概要	市の花である「菊」を展示し、広く市民に鑑賞の機会を提供することを目的とし、展示のための会場費等の経費を予算化している。 菊展示の委託先:境港菊の会	今年度見直し事項	
事業目的	市民に市の花を観賞する機会を提供するとともに市の花の普及に努める。		
現状と背景	以前は境中央公園や夢みなとタワーで行っていたが、より多くの市民に鑑賞してもらうため、平成20年度以降は市民会館市民広場で行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化振興事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,809	1,888		1,888			1,888	79
財源内訳	国							
	県	632		600			600	▲ 32
	市債							
	その他	1,177	688	1,288			1,288	111
一般財源		1,200						

事業概要	<p>市民の音楽活動等の文化活動の振興を目的に、市民が参加できるコンサート等を開催する経費を予算化している。</p> <p>・境港市ピアノコンクール</p> <p>市内の小学生から高校生までが参加するピアノコンクールの開催</p>	今年度見直し事項	
事業目的	市民が参加できる文化事業を開催することにより、市の文化振興の発展を図る。		
現状と背景	いずれの事業も10年以上継続して開催しており、多くの市民が参加している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県社会教育協議会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	36	36		35			35	▲ 1
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	36	36		35			35

事業概要	鳥取県内の社会教育を振興するため県が設置する鳥取県社会教育協議会に対する県内市町村の負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	構成団体(市町村教育委員会及び社会教育関係団体)相互の連絡提携を図るとともに、鳥取県公民館連合会と連携して、鳥取県社会教育の振興発展に寄与することを目的とする。		
現状と背景	平成19年度までは他の協議会等への負担金補助金が主な事業であったため、予算の見直しを行った。その結果、平成20年度から支出項目を主に鳥取県公民館連合会交付金及び自主事業費とし、市町村負担金を削減している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育事務人件費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	45,109	43,654		43,654		375	44,029	▲ 1,080
財源内訳	国							
	県			6			6	6
	市債							
	その他							
一般財源	45,109	43,654		43,648		375	44,023	▲ 1,086

事業概要	教育委員会事務局職員(社会教育部門)6人の人件費(給与・手当・共済費)である。	今年度見直し事項	
事業目的	教育委員会事務局職員(社会教育部門)6人の人件費(給与・手当・共済費)		
現状と背景	教育委員会事務局職員(社会教育部門)6人の人件費(給与・手当・共済費)	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県社会教育委員連絡協議会負担金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	15	15		15			15	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	15	15		15			15

事業概要	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡調整をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする鳥取県社会教育委員連絡協議会に対する負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡調整をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする。		
現状と背景	この会は県及び市町村に設置された社会教育委員をもって組織され、情報収集・情報交換、研修会等をとおして各市町村の社会教育の振興を図っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	青少年育成境港市民会議補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	335	360		335	25		360	25
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	335	360		335	25		360

事業概要	<p>学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進することを目的とし、青少年育成境港市民会議に対する補助金を予算化している。</p> <p>青少年育成境港市民会議の事業例は下記の通り。</p> <p>青少年意見発表会及び青少年育成講演会各1回開催。あいさつ運動・防犯パトロールの実施。</p>	今年度見直し事項	
事業目的	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進する。		
現状と背景	<p>近年の情報メディアの急速な発達・普及により、青少年をとりまく環境は大きく変化している。そのため学校・家庭・地域が連携して青少年の健全育成に取り組んでいかなければならない。</p> <p>会員数55名。</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県西部広域行政管理組合負担金(視聴覚ライブラリー)
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	533	530		530	▲ 7		523	▲ 10
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	533	530		530	▲ 7		523	▲ 10

事業概要	鳥取県西部地区の市町村で構成する西部広域行政管理組合の教育部門である西部視聴覚ライブラリーの人件費、教材購入費等の経費に対する境港市の負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	人権、生活安全、保健衛生、環境問題等の教育映像の貸出環境を整備し、学校教育機関並びに広く市民への貸出を実施することにより、市内の視聴覚教育の充実を図ることを目的とする。		
現状と背景	(平成22年度貸出実績) 貸出回数 閲覧人数 ビデオ 57回 378人	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	プラスフェスタ運営補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	287	287		287			287	
財源内訳	国							
	県	143		143			143	
	市債							
	その他	144		144			144	
一般財源		287						

事業概要	市内の小学校から高校、一般までの金管バンドが参加するコンサート(プラスフェスタin境港)の運営費を補助する。	今年度見直し事項	
事業目的	金管バンドを通して、様々な年代の演奏者の交流と音楽活動の振興を図るとともに、市民に広く鑑賞の機会を提供する。		
現状と背景	平成17年度までは(財)境港市文化福祉財団の自主事業、平成18年度は市主催事業、平成19年度からはプラスフェスタin境港実行委員会の主催事業として開催している。 市補助金のほか、(財)ごうぎん鳥取文化振興財団助成金の申請を予定。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	青少年育成センター管理費
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,249	2,253		2,220	33		2,253	4
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	2,249	2,253		2,220	33		2,253

事業概要	青少年育成センター職員2名の人件費(2名分の各1/2を生涯学習課で負担)及び青少年育成センター運営協議会委員報酬	今年度見直し事項	
事業目的	青少年育成センターに職員を2名(2名分の各1/2を生涯学習課で負担)置き、青少年の健全育成を図る。		
現状と背景	平成18年度から平成21年度まで青少年育成センターの所管を教育総務課に移し、育成センター内に「やすらぎルーム」を設置していたが、育成センターとしての機能は十分ではなかった。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	指定文化財整備事業補助金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		304		304			304	304
財源内訳	国							
	県			152			152	152
	市債							
	その他					152	152	152
一般財源		304		152		▲ 152		

事業概要	市指定文化財の記録・保存に必要な維持・修繕等の整備事業に対して補助を行う。補助事業者は市指定文化財の所有者、補助率は補助対象経費の2分の1以内。 (H24対象事業)日御崎神社(渡町)社殿修繕工事	今年度見直し事項	
事業目的	市指定文化財の記録・保存に必要な整備事業に対して補助金の交付を行い、文化財の維持・活用を図っていくことを目的とする。		
現状と背景	文化財は、年数を経ているものがほとんどであり、その保存・維持・活用には修繕等の整備事業が不可欠である。そのため、市指定文化財所有者に対して、保存・記録に必要と認められた事業に対して補助を行っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	次世代鑑賞者育成事業補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	100	100		100			100	
財源内訳	国							
	県	100	100	100			100	
	市債							
	その他							
	一般財源							

事業概要	未就学児を対象とした作品鑑賞、創造体験または公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	芸術・文化活動者のすそ野拡大・次世代鑑賞者の育成		
現状と背景	H16から県の事業として行われてきたが、子育て家庭へのさらなる周知を図るため、H22から窓口が市町村へ移行した。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	門脇重綾没後140周年記念事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		207						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		207					

事業概要	門脇重綾没後140周年を記念し、遺品の展示、講演会を開催する。	今年度見直し事項	
事業目的	郷土の偉人・門脇重綾の生涯と業績を市民に紹介することにより、彼の生涯や業績、郷土の歴史への理解を深めてもらう。		
現状と背景	門脇重綾の遺品は市指定文化財だが、通常は非公開であるため市民が目にすることができない。彼の生涯や業績を知ってもらうとともに、文化財への理解を深めてもらうため、定期的な公開が必要である。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	北米移住120周年記念事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		1,266				1,266	1,266	1,266
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他					1,266	1,266	1,266
一般財源		1,266						

事業概要	境港市出身者による北米(アメリカ・カナダ)移住から120周年を迎えるのを記念し、講演会・記念展示を行うとともに、交流を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	先人達の歩んだ足跡と志を学ぶことにより、郷土の歴史、将来について関心を持ってもらう。		
現状と背景	日系社会も3世・4世が多くを占め、日本との関わりも次第に薄くなりつつあるが、自分のルーツに関心を持つ者も少なくない。ただ、このような歴史は日本においても広く知られているとはいえない状況にあるため、周知が必要である。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	学校支援地域本部事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		1,462		1,403			1,403	1,403
財源内訳	国							
	県		894		935		935	935
	市債							
	その他							
	一般財源		568		468		468	468

事業概要	教育委員会事務局内に「学校支援地域本部」を設置し、地域コーディネーターが小中学校10校と学校ボランティアとの調整を図りながら、学校の要望に応じて様々な教育活動を支援する。	今年度見直し事項
事業目的	教員が本来の職務に専念できるよう業務負担の軽減化を図るとともに、地域の方々に学校を支援してもらうことにより学校教育への関心を高め、地域の教育力を活性化し、学校・地域の連携体制の構築をめざす。	
現状と背景	近年子どもを取り巻く環境が大きく変化するとともに、家庭や地域の教育力が低下しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等が連携し地域全体で教育に取り組む体制づくりをめざす必要がある。本市では学校支援地域本部事業を平成20年度から23年度まで実施し学校と地域の連携を図ってきたので、平成24年度からも途切れることなく継続していく。	その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	小灘一紀氏絵画展開催補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		1,500			1,200	600	1,800	1,800
財源内訳	国							
	県				600	300	900	900
	市債							
	その他				600	300	900	900
	一般財源		1,500					

事業概要	郷土出身の画家・小灘一紀氏の絵画展等の開催に対する補助金。	今年度見直し事項	
事業目的	小灘一紀氏の顕彰とともに、神話等をテーマとした作品の展示を通じ、郷土の歴史への理解を深めてもらう。		
現状と背景	平成24年は古事記編纂1300年にあたり、山陰各地でも様々な取り組みが行われる中、市民にとっても、郷土の歴史や魅力を再発見する良い機会である。	その他	